

凡例

- 一、本書は「調布市議会50年史」として、合併による調布市誕生から平成十七年五月までの調布市議会の活動を中心に記述した。
- 一、本書は三部構成とし、第一部は、昭和三十年の市制施行から昭和五十年五月までを既刊「調布市議会20年史」をもとに、リライト・加筆及び修正を加え調布市の二十年とし、第二部は昭和五十年六月から平成十七年五月までとした。また第三部は資料編として、年表・議員名簿及び昭和五十年以降の議案を掲載した。
- 一、執筆に当たっては、議会活動を中心として、資料などに基づき客観的かつ公正な内容とするように努めたが、紙幅の関係ですべての問題を取り上げることはできず、本市にとって比較的重要なものに限定している。
- 一、本文の記述は、平易な口語体とし、極力難解な表現は避け、親しみやすく、分かりやすい表現にするように留意したが、なおそのほかの表現については次のような方針に従った。
 - ① 原則として常用漢字、現代仮名遣いによった。
 - ② 本会議や各種資料などからの引用は、原文の趣旨を尊重したが、明らかな誤字、脱字など適宜訂正し、本文に合わせて字句を統一した箇所もある。
 - ③ 人名については、原則として敬称を省略し表記には適宜、旧字体を使用した。また議会活動においては氏名のあとに「議員」を付し、当時の所属会派名を適宜（ ）内に付した。
 - ④ 年号は和暦を用い、適宜（ ）内に西暦を付記した。
 - ⑤ 資料編の年表は市制施行から昭和五十年三月までは略年表とし、昭和五十年四月から平成十七年五月まではより詳細な事項を掲載した。
 - ⑥ 資料編については、議案以外にも選挙・報告などを掲載し、より資料的価値を高めた。

1	会派の結成	16
2	委員会の設置	17
3	特別委員会の設置状況	17
二	正副議長の選出	18
1	議長の選出	18
2	副議長の選出	19
三	議会活動	19
1	定例会及び臨時会の開催状況	19
2	議案の提出状況	21
3	意見書・決議の件数	22
第一章	市制施行へ向けて（昭和二十年八月～昭和三十年五月）	23
	序説 時代の背景	23
第一節 「町村合併促進法」公布前		25
一	地方制度の改革	25
二	シャウプ勧告と神戸勧告	25
三	町村合併促進法	26
第二節 合併への始動		27
一	合併機運の高まり	27
二	破談までの経緯	27
三	二町合併	29
第三節 調布市誕生直後の市議会		31
一	初議会	31
1	市議会の構成・人事	31

2	議案の可決	32
二	合併直後のハプニング	32
三	想定外議会	33
第二章 新生調布市の歩み（昭和三十年六月～昭和三十四年五月）		
序説 時代の背景		
一	当選者の決定	34
1	市議会議員選挙	34
2	市長選挙	35
二	四年間の世の中の動き	36
第一節 議会活動		
一	議会の構成	39
(一)	選挙後一年目の役員人事（昭和三十年六月～昭和三十一年五月）	39
1	市議会三役人事	39
2	正副委員長の決定	39
(二)	選挙後二年目の役員人事（昭和三十一年六月～昭和三十二年五月）	40
1	市議会三役人事	40
2	正副委員長の決定	40
(三)	選挙後三年目の役員人事（昭和三十二年六月～昭和三十三年五月）	41
1	市議会三役人事	41
2	正副委員長の決定	42
(四)	選挙後四年目の役員人事（昭和三十三年六月～昭和三十四年五月）	42
1	市議会三役人事	42
2	一回目の正副議長選挙	42
3	二回目の正副議長選挙	43

4	三回目 of 正副議長選挙	43
5	正副委員長の決定	43
一一	議会の動き	44
1	昭和三十年度の動き	44
2	昭和三十一年度の動き	45
3	昭和三十二年度の動き	47
4	昭和三十三年度の動き	48
第二節	市議会を悩ましたこと	50
一	特飲街廃止をめぐる騒動	50
1	全員協議会に緊急動議提出	50
2	厚生常任委員長と副委員長との対立	50
一一	塵芥焼却場設置問題	51
1	塵芥焼却場建設用地決定までの経緯	51
2	経営形態を議決	52
3	反対運動を乗り越えて工事着工へ	52
第三章	市議会の新思潮（昭和三十四年六月～昭和三十八年五月）	54
序説	時代の背景	54
一	当選者の決定	54
1	市議会議員選挙	54
2	市長選挙	55
一一	四年間の世の中の動き	55
第一節	議会活動	59
一	議会の構成	59

(一) 選挙後一年目の役員人事(昭和三十四年六月～昭和三十五年五月)	59
1 市議会三役人事	59
2 正副委員長の決定	59
(二) 選挙後二年目の役員人事(昭和三十五年六月～昭和三十六年五月)	60
1 市議会三役人事	60
2 正副委員長の決定	60
(三) 選挙後三年目の役員人事(昭和三十六年六月～昭和三十七年五月)	61
1 市議会三役人事	61
2 正副委員長の決定	61
(四) 選挙後四年目の役員人事(昭和三十七年六月～昭和三十八年五月)	61
1 市議会三役人事	61
2 正副委員長の決定	62
3 会派の動向	62
(一) 議会の動き	62
1 昭和三十四年度の動き	63
2 昭和三十五年度の動き	64
3 昭和三十六年度の動き	65
4 昭和三十七年度の動き	66
第二節 新課題への取り組み	69
(一) し尿処理場建設に全力投球	69
1 し尿処理場建設計画	69
2 工事着工へ向けて	69
(二) 競輪事業をめぐる保革対立	70
1 意見対立	70
2 かりうじて競輪存続	70
3 競輪収益金の予算計上	71

第四章 市議会近代化への過渡期（昭和三十八年六月～昭和四十二年五月）……………73

序説 時代の背景……………73

一 当選者の決定……………73

1 市議会議員選挙……………73

2 市長選挙……………74

二 四年間の世の中の動き……………74

第一節 議会活動……………78

一 議会の構成……………78

(一) 選挙後一年目の役員人事（昭和三十八年六月～昭和三十九年五月）……………78

1 市議会三役人事……………78

2 正副委員長の決定……………78

(二) 選挙後二年目の役員人事（昭和三十九年六月～昭和四十年五月）……………79

1 市議会三役人事……………79

2 正副委員長の決定……………79

(三) 選挙後三年目の役員人事（昭和四十年六月～昭和四十一年五月）……………80

1 市議会三役人事……………80

2 正副委員長の決定……………80

(四) 選挙後四年目の役員人事（昭和四十一年六月～昭和四十二年五月）……………80

1 市議会三役人事……………80

2 正副委員長の決定……………81

3 会派の動向……………81

二 議会の動き……………82

1 昭和三十八年度の動き……………82

2 昭和三十九年度の動き……………84

3 昭和四十年年度の動き……………85

4	昭和四十一年度の動き	87
	第二節 都市整備の推進	89
1	上下水道の整備	89
1	水源確保を目指して	89
2	公共下水道建設に向けて	90
二	町名改正	91
	第五章 健康な住宅都市を目指して（昭和四十二年六月～昭和四十六年五月）	93
	序説 時代の背景	93
一	当選者の決定	93
1	市議会議員選挙	93
2	市長選挙	94
二	四年間の世の中の動き	95
	第一節 議会活動	98
一	議会の構成	98
(一)	選挙後一年目の役員人事（昭和四十二年六月～昭和四十三年五月）	98
1	市議会三役人事	98
2	正副委員長の決定	98
(二)	選挙後二年目の役員人事（昭和四十三年六月～昭和四十四年五月）	99
1	市議会三役人事	99
2	正副委員長の決定	99
(三)	選挙後三年目の役員人事（昭和四十四年六月～昭和四十五年五月）	100
1	市議会三役人事	100
2	正副委員長の決定	100
(四)	選挙後四年目の役員人事（昭和四十五年六月～昭和四十六年五月）	101

1	市議会三役人事	101
2	正副委員長の決定	101
3	会派の動向	101
一一	議会の動き	102
1	昭和四十二年度の動き	102
2	昭和四十三年度の動き	104
3	昭和四十四年度の動き	104
4	昭和四十五年度の動き	108
第二節	健康で住みよい都市づくりへの取り組み	109
一	河川敷訴訟問題への対応	109
二	公害防止への即応	110
第六章	市議会は市民とともに（昭和四十六年六月～昭和五十年五月）	111
序説	時代の背景	111
一	当選者の決定	111
1	市議会議員選挙	111
2	市長選挙	112
二	四年間の世の中の動き	112
第一節	議会活動	116
一	議会の構成	116
(一)	選挙後一年目の役員人事（昭和四十六年六月～昭和四十七年五月）	116
1	市議会三役人事	116
2	正副委員長の決定	116
(二)	選挙後二年目の役員人事（昭和四十七年六月～昭和四十八年五月）	118
1	市議会三役人事	118

2	正副委員長の決定……………	119
(三)	選挙後三年目の役員人事(昭和四十八年六月～昭和四十九年五月)	119
1	市議会三役人事……………	119
2	正副委員長の決定……………	119
(四)	選挙後四年目の役員人事(昭和四十九年六月～昭和五十年五月)	120
1	市議会三役人事……………	120
2	正副委員長の決定……………	120
3	会派の動向……………	121
一一	議会の動き……………	121
1	昭和四十六年度の動き……………	121
2	昭和四十七年度の動き……………	122
3	昭和四十八年度の動き……………	125
4	昭和四十九年度の動き……………	127
第二節 住民対応の市議会 ……………		
一	委員会傍聴をめぐって……………	130
二	京王線対策……………	131
1	京王相模原線問題解決に向けて……………	131
2	京王線立体計画に向けて……………	131
三	実力行動の成果(調布インター問題)……………	132
1	中央自動車道対策の歩み……………	132
2	調布インター実力閉鎖……………	134

第Ⅱ部 調布市議会の三十年(昭和五十年～現在)

序章 地方自治の転機の中の模索……………	139
----------------------	-----

第一節 二〇万都市への発展	139
一 人口増と人口流動	139
二 少子化と高齢化	142
三 外国人人口の増加	143
第二節 選挙と選挙民	144
一 調布市の選挙と頻度	144
二 有権者増と投票率の低下	145
三 低投票率の要因	147
第三節 行動する議会・挑戦する議会	150
一 会派の再編と新勢力の進出	150
二 時代の課題への取り組み	151
三 新しい時代に対応する議会改革	153
第四節 変貌する社会の中の市政	155
一 市長選の動向	155
二 四次の基本構想の策定と市政	156
第一章 昭和五十年代 本多市政終焉期の市議会	160
序説 本多市政第四期の主張と終焉	160
一 時代の背景	160
二 昭和四十九年市長選挙	160
三 その他の選挙	161
第一節 市議会議員選挙と市議会	163
一 市議選の結果	163

二	市議会の構成・人事	164
三	市議会の活動	165
第二節	市民参加行政と市議会	170
一	まちづくり市民会議と市議会の対応	170
二	「調布市市民憲章」の制定	171
第三節	財政運営、職員意識改革等問題と市議会の意思	173
一	オイルショック以降の財政運営の安定確保と市議会	173
二	職員の定数増議案に対する市議会の反応	174
三	建て売り業者への関与に関わる事件と市議会	175
第四節	都市基盤整備の推進と市議会の意思	177
一	市民福祉会館（第一期）建設と市議会	177
二	調布駅北口再開発、京王線高架問題と市議会の反応	178
三	旧調布基地・旧関東村跡地問題と市議会	179
四	昭和五十から五十三年度に見る下水道整備問題	182
五	水道料金改定と一元化問題	184
六	町名地番整理問題	186
七	市道七六一号線（仮称）問題のてん末	187
第五節	コミュニティ施設、福祉施設の整備と市議会	190
一	コミュニティ醸成の基本概念と施設整備	190
第六節	生活環境問題への動向と議会対応	192
一	都営住宅高層化問題と市議会特別委員会の対応	192
二	中央自動車道調布インターチェンジ環境問題にみる議会の足跡	194
三	緑の保全問題と市議会	196

第七節 学校施設の建設、教育問題と市議会	198
一 柏野小学校の土地取得と建設費予算議案	198
二 くすのきアパート建て替え計画による国領小学校開校	199
三 第八中学校（仮称）用地と建設	199
四 都立高校誘致問題	200
五 滝坂小学校百周年記念誌問題のてん末	201
第二章 保守金子市政の誕生と市議会	203
序説 金子市長の誕生	203
一 時代の背景	203
二 昭和五十三年市長選挙	203
三 その他の選挙	205
第一節 市議会議員選挙と市議会	207
一 市議選の結果	207
二 市議会の構成・人事	208
三 市議会の活動	210
第二節 「基本構想」「基本計画」改定と行財政問題への取り組み	216
一 調布市基本構想の全面改正と市議会の対応	216
二 市組織改正議案の提出と市議会の対応	220
三 東京都財政再建計画の影響と市議会の対応	221
四 調布市名誉市民条例制定と名誉市民の推挙	222
第三節 都市基盤整備問題と市議会	224
一 下水道整備の推進とふじみ処理場の業務転換	224

二	調布駅北口再開発の動向と市議会の対応	225
三	旧調布飛行場跡地利用計画問題と市議会一般質問	226
第四節	生活環境問題と市議会	228
一	生活環境の安全性を提起した調布飛行場問題	228
二	高層マンション建設反対問題のその後	229
三	都道一・二・一号線、東京外郭環状線のその後と議会の対応	230
第五節	国際障害者年、国際児童年事業と市議会	232
一	国際障害者年事業の展開と市議会の意見	232
二	総合福祉センター建設問題	233
三	工事中断の福祉作業所問題の展開	234
四	地域福祉センター網整備の進展	235
五	国際児童年事業、児童館など施設整備	237
第六節	学校教育施設などの整備問題	240
一	(仮称)第二小学校新設と(仮称)九中新設の動向	240
二	校舎不燃化への増・改築工事	241
三	高校増設決議にみる市議会の動向	243
四	八ヶ岳少年の家(仮称)開設と市民総合体育館建設の動向	244
第七節	その他の市政、議会の動向	247
一	選挙ポスター公営掲示場条例議案の可決	247
二	平和都市宣言への胎動としての市議会	247
第三章	昭和五十年代後期の市議会 社会基盤確立期における市議会	249
序説	金子市長後期の主張・昭和五十七年市長再選	249

一 時代の背景……………	249
二 昭和五十七年市長選挙……………	249
三 その他の選挙……………	251
第一節 市議会議員選挙と市議会……………	254
一 市議選の結果……………	254
二 市議会の構成・人事……………	255
三 市議会の活動……………	256
第二節 市政運営と市議会……………	263
一 財政状況の悪化と行政の簡素合理化……………	263
二 市制三〇周年記念事業……………	265
三 参加型の第三次基本計画とまちづくり市民会議……………	267
四 非核平和都市宣言……………	270
第三節 社会基盤整備の確立と市議会……………	271
一 下水道の普及率一〇〇%の達成……………	271
(一) 下水道事業普及と歳出の変化……………	271
(二) 安い下水道料金と値上げ問題……………	272
(三) 下水道普及の完成と水洗化の問題……………	273
二 スポーツと地域のまちづくり……………	274
(一) 総合体育館の基本計画……………	274
(二) 西調布体育館……………	276
(三) 姉妹都市交流と木島平山荘……………	276
三 地域福祉施設の充実と市議会……………	277
(一) 総合福祉センターの建設……………	277
(二) 地域福祉センター網の整備、各地域センターの完成……………	279

(三) 特別養護老人ホーム・ケアセンターの整備	279
四 市民保養施設の完成と交流事業	281
(一) 八ヶ岳少年自然の家	281
(二) 国際青年年と交流	282
五 都市整備と放置自転車への対策	282
(一) 都市整備の必要性と課題	282
(二) 国領駅の再開	283
(三) 都市基盤整備事業基金	284
(四) 最終段階を迎えた町名地番整理	285
(五) 残された爪痕 調布飛行場問題と調布基地跡地利用促進の要望	286
(六) 自転車等の放置防止条例	288
(七) 調布駅南口自転車駐輪場オープン	289
第四節 新たな産業及び環境施策の展開と市議会	290
一 調布市における産業政策の展開状況	290
二 緑化の推進と保全	292
(一) 緑被率の向上	292
(二) ごみ処理施設とリサイクル	293
(三) 防災とまちづくり	294
第五節 教育政策の転換と市議会	297
一 教育環境の整備	297
(一) 「荒れる教室」への対応と学校の増改築	297
(二) いじめ問題とその対応	300
二 生涯教育の振興と武者小路実篤記念館	300
(一) 武者小路実篤記念館の完成	300
(二) 下布田遺跡が国の史跡指定	301

(三) 市の文化施策と市議会	302
三 児童館網の完成	302
(一) 児童政策と基本計画	302
(二) 調布ヶ丘児童館の完成	302
第四章 「平成」新時代の幕開けと市議会	304
序説 新たな「平成」の時代へ	304
一 時代の背景	304
二 昭和六十一年市長選挙	306
三 その他の選挙	307
第一節 市議会議員選挙と市議会	309
一 市議選の結果	309
二 市議会の構成・人事	310
三 市議会の活動	311
第二節 基本構想の策定と都市づくり	324
一 第三次基本構想の策定	324
二 市の組織改革と土曜(第二・第四)閉庁へ	326
三 土地高騰の問題	327
四 駅周辺のまちづくり	329
五 飛行場跡地の問題	332
六 地域産業の政策の充実	333
第三節 福祉行政の推進	337
一 福祉施設の充実	337

二	福祉行政の充実	339
三	婦人行動計画の策定	340
	第四節 交通環境の整備	343
一	道路の整備	343
二	京王線の高架問題	346
三	放置自転車の対策	347
四	バス路線の充実	350
	第五節 生活環境の整備	351
一	ごみ問題の深刻化	351
二	ごみリサイクルの推進	353
三	公園の整備と雨水ますの設置	355
	第六節 教育文化行政の充実	358
一	厳しくなる教育行政の財政	358
二	学校教育行政の課題	358
三	空き教室の利用	360
四	学童保育行政	362
五	生涯学習施策	363
六	イベント行政の展開	365
	第五章 二一世紀を目指した都市づくり	368
	序説 変革の時代の吉尾市政	368
一	時代の背景	368
二	平成二年市長選挙	370

三	その他の選挙	370
第一節	市議会議員選挙と市議会	373
一	市議選の結果	373
二	市議会の構成・人事	374
三	市議会の活動	376
第二節	変革の時代のまちづくり	394
一	自治体の新しい動き	394
二	市民と行政の協働を目指して	396
三	新女性プランの策定	398
四	新たな行財政運営を目指して	400
五	少子・高齢社会を展望した福祉のまちづくり	406
第三節	生活環境の整備	413
一	進む都市基盤整備	413
二	安全で住みよいまち	420
三	地球を救おう調布から	423
第四節	調布らしさを育む教育・文化	433
一	市民文化会館たづくりオープン	433
第六章	二一世紀を視野に入れた変革に対応する市議会	444
序説	変動する社会経済情勢	444
一	時代の背景	444
二	平成六年市長選挙	446
三	その他の選挙	447

第一節 市議会議員選挙と市議会	449
一 市議選の結果	449
二 市議会の構成・人事	450
三 市議会の活動	452
第二節 委員会活動	467
一 平成七年（第二回定例会以降）の委員会活動	467
二 平成八年の委員会活動	468
三 平成九年の委員会活動	472
四 平成十年の委員会活動	476
五 平成十一年（第一回定例会まで）の委員会活動	481
第三節 行政視察の実績	483
一 四年間の実績	483
二 主な行政視察	483
三 行政視察経費の節減	484
四 海外視察実施要綱	484
五 海外視察に対する議論	485
第四節 中学校給食と市議会	488
一 中学校給食の経緯	488
二 市議会選挙での公約	488
三 何故、中学校給食が必要か	489
四 市議会での中学校給食の方式の相違	489
五 市の取り組み	490
六 調布市立中学校給食検討委員会報告	491

七 直営自校方式による中学校給食に対する陳情の意味	493
第五節 調布飛行場をめぐる市議会	494
一 調布飛行場と跡地利用	494
二 調布基地跡地利用対策特別委員会の設置	494
三 東京都からの整備方針、整備基本計画の提示	495
四 東京都からの提案内容	495
五 調布基地跡地利用対策特別委員会の主な審査経過	496
六 整備方針及び整備基本計画に対する各会派の意見	498
七 調布飛行場に関する請願・陳情	499
第六節 京王線立体交差化事業と市議会	501
一 背反する課題を内包する京王線問題	501
二 立体交差の同床異夢	501
三 吉尾市政の認識	503
四 動き出した立体化事業	503
五 市民アンケート	504
六 立体化に向けた具体的な動き	505
第七節 環境政策と市議会	507
一 全国的な環境政策の動き	507
二 調布市における環境対策の動き	508
三 谷戸沢処分場と環境政策	509
四 ごみ政策とリサイクルの推進	511
五 環境保全への取り組み	512
六 地球温暖化、大気・土壌汚染等への関心	513

第八節 行財政改革と市議会	516
一 調布市の財政状況	516
二 調布市の行財政改革の概要	516
三 行財政改革への市議会の関心	516
第七章 世紀転換期の市議会	523
序説 最後半期の吉尾市政と長友市長の登場	523
一 時代の背景	523
二 平成十年市長選挙	525
三 平成十四年市長選挙	527
四 その他の選挙	529
第一節 市議会議員選挙と市議会	531
一 市議選の結果	531
二 市議会の構成・人事	533
三 市議会の活動	534
第二節 地方分権改革とIT革命のなかの自治体	551
一 新しい基本構想の策定	551
二 行財政改革の進展	554
三 地方分権改革への対応	558
四 IT革命と社会・行政・政治の変容	560
第三節 都市づくりの展開	565
一 進行する国領駅周辺再開発事業	565
二 動き出した京王線連続立体交差事業	566

三	地域経済の活性化に向けて	567
四	交通行政の推進	569
第四節	生活環境の整備	571
一	ISO14001の認証取得	571
二	逼迫するごみ問題	572
三	調和小学校シックハウス問題	577
第五節	少子高齢社会への対応	579
一	スタートした介護保険制度	579
二	さらなる充実を求められる子育て支援	582
第六節	学校教育の充実と男女共同参画の推進	585
一	教育環境の変化への対応	585
二	男女共同参画社会実現へ向けて	587
第八章	魅力ある調布市へ向けての参加・協働のまちづくり	589
序説	任期後半期の長友市政	589
一	時代の背景	589
二	長友市政の平成十五年から十七年	591
第一節	市議会議員選挙と市議会	594
一	市議選の結果	594
二	市議会の構成・人事	598
三	市議会の活動	599
第二節	「調布市行政改革アクションプラン《平成十六年度～平成十八年度》」と市議会	608
一	新「アクションプラン」の策定	608

二 市議会の対応	608
第三節 生活環境・都市基盤整備と市議会	611
一 広域交通問題と街づくり	611
二 ごみ問題への取り組み	614
三 参加・協働のまちづくり	619
第四節 議会改革協議会の設置と議会改革	623
一 議改協の設置と構成	623
二 議改協の活動	623
三 議改協の成果	624
終章 二二世紀の新しい市議会像の創造へ向けて	627

第Ⅲ部 資料編

年表	633
議員名簿	728
付議された議案	884

調布市議会50年史執筆者一覧

調布市議会50年史編集委員名簿

調布市議会事務局